

## 平成 29 年度第 1 回山形県公立大学法人評価委員会議事要旨

- 1 日 時 平成 29 年 7 月 31 日（月）午後 2 時から午後 4 時 45 分まで
- 2 場 所 山形県建設会館 3 階 中会議室
- 3 出席者 <委員>  
阿部委員長、井上委員、武田委員、中條委員、野崎委員、山下委員  
< 県 >  
大森総務部長、武田健康福祉部長、遠藤学事文書課長、渡邊健康福祉企画課長  
ほか  
<山形県公立大学法人>  
鈴木理事長、奥山理事、大和田理事、高橋理事、馬場理事、菌部理事 ほか  
<公立大学法人山形県立保健医療大学>  
前田理事長、高橋理事 ほか

概要：

### 1 開会

### 2 委員長選出

委員から互選により阿部委員を委員長に、委員長の指名により中條委員を委員長代理に選出。

### 3 議事

#### (1) 平成 28 年度業務実績報告書に対する評価等について

##### ①山形県公立大学法人

##### ア 平成 28 年度業務実績報告書に対する評価について

山形県公立大学法人より平成 28 年度業務実績報告書について説明を行った後、大項目ごとに質問、意見交換をし、大項目別に評価を行った。業務実績評価書の内容については、委員長と事務局で案を作成し、委員の意見を聞いたうえで、最終的に評価書ととりまとめることとされた。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目		評価
第2	山形県立米沢栄養大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第2 の2	山形県立米沢女子短期大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	3
第4	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第5	自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第6	その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置	4

### <主な質疑・意見>

#### 【学生の確保について】

- 米沢栄養大学について、入試形態の多様性と将来性（出口）の伝え方と近隣県への応募の働きかけを検討いただきたい。（山下委員）  
⇒初めての卒業生を迎え、就職状況がはっきりするので、その情報を広報活動に活かしていくとともに、本学の教育内容を積極的にPRしていきたい。（鈴木学長）

#### 【学生の確保にかかる広報活動について】

- SNS（ソーシャルネットワークサービス）の導入にあたっては、セキュリティの問題に留意いただきたい。また、予算を伴わないSNSの運用については、組織内の体制作りが大事である。（野崎委員、武田委員）

#### 【他大学との連携について】

- 米沢栄養大学について、取り組みが充実しており、S評価が妥当である。「大学コンソーシアムやまがた」の中核として、保健医療大学とともに、県内大学のネットワークを強化していただきたい。（山下委員、井上委員）

#### 【就職支援について】

- 米沢女子短期大学について、かなり高い就職率と考える。昨年度よりも取り組みが充実しており、S評価として良い。また、地域と密着した取り組みを行っている保健医療大学と連携し、取り組みを進めていただきたい。（山下委員、井上委員）

【高等学校等との連携について】

- 探究学習に公立大学や国立大学が連携し取り組むことで、栄養や保健等に関心を抱く生徒を日々の学習からつなげることができるようになるとともに、ロールモデルとしての大学生や大学院生を生徒に示すことができ、入学志願者の増加に繋がる地元ならではの取り組みになるのではないかと。(井上委員)

【人材の確保について】

- 米沢栄養大学の女性研究者の育成、地位向上のための支援の充実について、将来を見据え、時代を開いていく観点からダイバーシティ事業に取り組み、女性研究者の研究内容の向上が見られるほか、両立支援等の点においても全国的に注目されるものであり、S評価と認められる。(井上委員)

【教員の業務評価について】

- 米沢女子短期大学について、平成28年度からの本格実施との目標に対し、具体的な手続き、評価シートの様式等の整備に留まったことから今後の取り組みに期待したい。

イ 平成28年度財務諸表及び利益の処分の承認に対する意見について

資料により総務部学事文書課から説明を行った。質疑・意見等はなく、財務諸表及び利益の処分について承認することが適当であると決定された。

② 公立大学法人山形県立保健医療大学

ア 平成28年度業務実績報告書に対する評価について

公立大学法人山形県立保健医療大学より平成28年度業務実績報告書について説明を行った後、大項目ごとに質疑、意見交換をし、大項目別に評価を行った。内容については委員長と事務局で案を作成し、委員の意見を聞いたうえで、最終的な評価書を取りまとめることとされた。

大項目別評価は以下のとおり。

大項目	評価
第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第5 自己点検、評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置	4
第6 その他業務運営に関する目標を達成するためにとるべき措置	4

<主な質疑・意見>

【県内就職率について】

- 三学科全体で過去最高の 60.9%となったことは評価できる。(井上委員、中條委員)

【教育研究成果の地域への還元について】

- 連番 68 の県民への学びの提供に係る項目と、年度計画の表現がほぼ同じなので、今後年度目標を工夫して、同じにならないように設定して頂きたい。

(井上委員、山下委員)

- 研究成果の医療面での還元、大学間連携の成果の還元という中期目標の趣旨を考えると、連番 63 がA評価、連番 68 はS評価が妥当。(阿部委員長、井上委員、山下委員)

【県民への学びの提供について】

- 4 地域の公開講座のほかにも県民に学びの機会を提供しており、積極的な活動が認められる。(阿部委員長、武田委員)

【課題解決型高度医療人材プログラム採択事業について】

- 研修会の参加者が増加しただけではなく、大きな事業に取組まれた効果が出ているので、成果を適切に評価すべき。(井上委員)

【教育の成果検証のためのアンケートについて】

- アンケートの分析結果を積極的に活かしていただきたい。(井上委員)

【LGBTについて】

- 若い学生たちの間でLGBTに対する意識が高まっており、そういった方々への対応も今後必要となってくると考える。(武田委員)

【文献データベースへのアクセスについて】

- 文献データベースに学外からアクセスできるようになったのは大きな進展。

(阿部委員長)

【非常勤講師の高齢化について】

- 現在雇用している非常勤講師について、年齢の上限を設けているのか(武田委員)  
⇒ 非常勤講師の確保について苦労しているところもあり、現在 75 歳以上の講師については継続して頂いている。新たな方針は新規に採用する方から適用している。(前田学長)

**【職場の環境づくりについて】**

- 次世代育成支援対策推進法や女性活躍推進法の趣旨に基づき、公立大学法人として、女性が働きやすい環境づくりについて、リーダーシップを発揮して頂きたい。(井上委員)

**【科学研究費の獲得について】**

- 科学研究費の獲得について、今後も継続して努力して頂きたい。
- ⇒ URA制度の導入に向けて検討中であり、科学研究費以外の外部資金の獲得にも努めていきたい。(前田学長)

**イ 平成 28 年度財務諸表の承認に対する意見について**

資料により健康福祉部健康福祉企画課より説明を行った。下記のとおり質疑の後、財務諸表について承認することが適当であると決定された。

**【人件費について】**

- 人件費について許容範囲とした判断について教えていただきたい。(中條委員)
- ⇒ 規模等が類似する看護系大学と比較したところ、飛びぬけて経常費用に対する人件費の比率が高い訳ではないことからそう判断したところです。(渡邊健康福祉企画課長)

**(2) 山形県公立大学法人第 2 期中期目標変更案について**

総務部学事文書課から、山形県公立大学法人が、山形県立米沢栄養大学大学院を設置することに伴い、山形県公立大学法人第 2 期中期目標の一部を変更し、山形県立米沢栄養大学大学院に係る目標を追加することを説明し、原案どおり了承された。

**4 閉 会**